

やっています!

超音波内視鏡下穿刺吸引術

胃や十二指腸等の消化管から超音波内視鏡で胸腹部や骨盤内の腫瘍を観察し、消化管内から針を刺して組織を採取する方法です。超音波内視鏡とは内視鏡に超音波検査のプローブ(探触子)がついている内視鏡です。



腫瘍性病変の診断は超音波やCT、MRIなどでは困難な場合があります、そのような場合に組織を採取することができれば、より正確に診断することが可能になります。

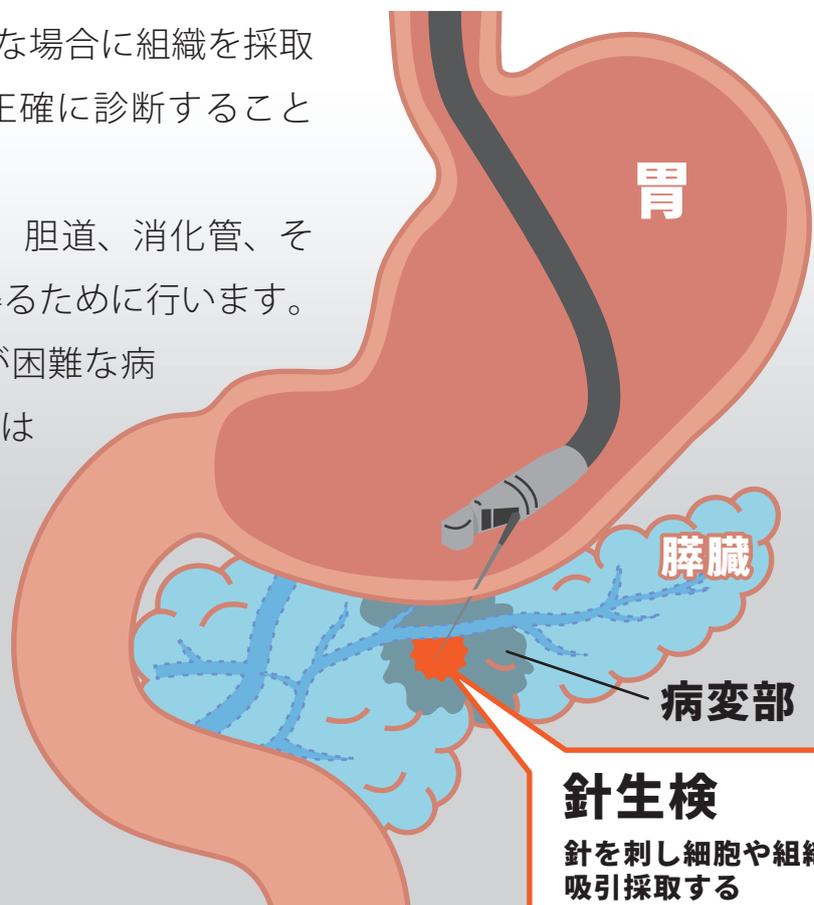
この検査を行う目的は膵臓、胆道、消化管、その他の臓器の正確な診断を得るために行います。

体の外側からのアプローチが困難な病

変に対して体の内側具体的には

食道、胃、十二指腸などの消化管を通して病変に生検針を穿刺し組織を採取し評価します。

今後の治療方針の決定に非常に重要な検査です。



針生検

針を刺し細胞や組織を吸引採取する